

まきひと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.4

思いをカタチに

先週末、朝の職員朝礼でひとりの生徒が全校生徒に配付する2種類の付箋の趣旨説明をおこないました。教職員が勢揃いした職員室で生徒がしゃべるのは相当緊張することと思うのですが、その堂々として明快な説明ぶりに驚かされました。

彼女は本校3年生の山根麗奈さん。「日本一チャレンジにやさしいまち」を掲げる雲南市が実施している「スペシャルチャレンジ」(スペチャレ)の4期生で、今回全校生徒に配付する付箋セットはその成果物になります。

彼女は「学校内でたくさんのコミュニケーションが生まれれば良いな」と考え、そのツールとして本校のキャラクター「おりべちゃん」をデザインした付箋と「TO DO LIST」を作成したそうです。「提出するワークに付箋を貼って先生から返事をもらって教えてもらう」「リストですべきことを可視化」など利用法を考え、それをカタチにする。このプロジェクトに対する「思い」が自ら作成したチラシからもあふれています。しかもこのチラシ。スマホだけで作成したとか。今の生徒たちのスキルの高さに驚かされます。

自らの思いをプレゼンし、スペチャレ採用後はそれを実現可能なカタチにすべく周りを巻き込んで試行錯誤する。その繰り返し、その過程が生徒を確実に成長させてくれます。毎年たくさんの生徒たちがこのスペチャレに参加し、多くの成果をあげ、自身も大きく成長するチャンスとなっています。

「可能性を開き、チャレンジを支える」大東高校。学校内だけでは出来ない教育を地域の方々のかも借りながら「まち」の未来をつくる若者の育成をめざしていきたいと考えています。今年度のスペチャレ参加者の成長も楽しみにしています。

